



朝日 将貴 議員
無会派

問 産業観光ツアー実現に向けて

答 広域観光として研究したい



▲産業観光に積極的に取り組む三重県桑名市での海外からの視察の様相

問 観光の課題は。
答 (開発部長) 年間を通して来ていただける状況になり。
問 競馬場に関わる団体は。
答 (市長) 愛知県、名古屋、豊明市で組織される県競馬組合。

問 市・市議会を交えた意見交換会の実施を。

答 競馬組合に加入してからのことになる。
問 観光課の役割は。
答 新庁舎開庁に向けて考えていきたい。
問 民間活力の導入は。
答 (開発部長) 近隣市町村を参考に研究を始めていく。

問 市内の観光の現状認識は。
答 土産店、宿泊施設が整っていない。
問 企業や学校を観光資源にしては。
答 企業や学校の協力が不可欠。
問 桑名市と連携して相乗効果を。
答 桑名市の状況を聞き、研究していく。

問 地元である海老江、小島・弥生台、五之三、五明の地区代表者と私の5名で跡地利用に対する地元協議会を立ち上げた。
目的は「要望窓口を一本化し、要望を達成すること」。事業者も現状は前向きな姿勢を見せており好感度だが、今後も具体的な回答が得られるよう引き続き働きかけていく。
なお、達成した後も、協議会を住民側の窓口として存続することとなった。
市も協議会からの要望に対し協力を。
答 (都市計画課長) 地元の住環境を守る意味から、できる範囲でサポートしていく。
答 (市長) 協議会と連携し、市・県と事業者で諸課題を話し合う場を設けていきたい。

問 ニッケゴルフ場跡地進捗状況は
答 地元協議会と連携していく

問 産業観光について以下を参考に研究を始めていく。
問 観光の将来像はあるか。
答 宿泊などの環境整備を行政が行うことは困難。
問 市長の総括を。
答 (市長) 産業観光は海部地域で時間をかけて考えていきたい。